



News Release

2018年5月8日

武田薬品によるシャイアー社買収の申出について

- 日本に本社を置く、企業価値の向上を追求する研究開発型グローバルバイオ医薬品企業のリーディングカンパニーが誕生
- 世界中に革新的な医薬品や治療法をお届けする体制がさらに強化
- ビジョン 2025 達成に向けた戦略的な変革が加速

本買収のハイライト

- 消化器系疾患及びニューロサイエンスにおいて相互に補完するとともに、希少疾患と血漿分画製剤においてリーディングカンパニーとしてのポジションを獲得することで、オンコロジーやワクチンにおける強みを補完
- 日本に本社を置く、企業価値の向上を追求する研究開発型グローバルバイオ医薬品企業のリーディングカンパニーが誕生し、今後の発展を促進する魅力的な地理的拠点と規模を確立
- 強固かつモダリティの多様な、高度に補完的なパイプラインを創出し、画期的なイノベーションにフォーカスした研究開発体制を強化
- 当社のキャッシュフロープロファイルが向上し、大幅な年間コストシナジーの実現や充実した株主還元実施を確信
- 当社の変革が、シャイアー社の統合を成功に導き、統合後の会社の価値を最大化

武田薬品工業株式会社(本社:大阪市中央区、以下、「当社」又は「タケダ」)は、Shire plc(以下、「シャイアー社」)との間で、2018年5月8日、当社がシャイアー社の全発行済普通株式及び発行予定の普通株式を取得する取引(以下、「本買収」)に関する提案について合意しましたのでお知らせします。本買収においては、シャイアー社の各株主はシャイアー社株式1株当たり30.33米ドルの現金、ならびに0.839の当社新株式もしくは1.678の当社ADRのいずれかを受領する権利を有します。本買収は両社の取締役会によって承認されており、2019年上期(1~6月期)に完了する予定です。本買収の完了により、当社株主は統合後の会社の約50%を保有することになります。

重点領域におけるリーディングカンパニーとしてのポジション、魅力的な地理的拠点、規模と効率性の増強、生産性の高い研究開発体制のさらなる強化により、統合後の会社は世界中の患者さんに革新的な医薬品や治療法をお届けし、世界中の人々の健康と医療の未来により一層貢献します。

当社代表取締役 社長 CEO であるクリストフ・ウェバーは、「当社は創業以来、世界中の患者さんに革新的な医薬品と治療法をお届けすることができる、機動的で研究開発型のグローバル製薬会社へと変革を遂げてきました。シャイアー社の高度に補完的なポートフォリオとパイプライン、さらには経験豊富な従業員の方々が加わることで、さらに強いタケダへの変革が加速します。統合後の会社は、消化器系疾患領域、ニューロサイエンス(神経精神疾患)領域、オンコロジー(がん)領域、希少疾患領域および血漿分画製剤におけるリーディングカンパニーとなります。当社は、統合により、世界中の患者さんにベネフィットがもたらされ、当社の従業員に機会が提供され、株主への還元がもたらされることを期待しています」と述べています。

シャイアー社の会長である Susan Kilsby は、「過去 30 年にわたり、当社は希少疾患治療のグローバルリーダーであり、患者さんの人生をよりよくする革新的な医薬品をお届けしてきました。今回の統合により、当社は、さらに強靱な、豊富な研究開発パイプラインと世界各地に広範な拠点を有するバイオ医薬品企業誕生の一翼を担うこととなります。当社は、これまで当社が成し遂げてきたことを誇りに思うとともに、従業員の皆さんの貢献にも心から感謝しています。当社は、今回の統合が、当社製品や革新的なパイプラインがさらに力強い成長を遂げる可能性をもたらす、当社株主の方々や患者さん、社会の皆さんに最良の結果をもたらすものと確信しています」と述べています。

シャイアー社の CEO である Flemming Ornskov は、「当社が希少疾患のリーディングカンパニーへと変革し、患者さんのニーズを真摯に考える企業となるために、この 5 年にわたり成し遂げてきた全てに対しシャイアーの皆さんに感謝します。こうした一途な努力により、当社は今後もずっと最優先事項に沿った結果を残せるものと確信しています。真に革新的なポートフォリオとパイプラインを得て、今回の 2 社の統合は株主に最善の利益をもたらす、さらに世界中の希少かつきわめて特異的な症状を有するより多くの患者さんに、人生をよりよくする機会を提供できるものと考えています」と述べています。

極めて強固な戦略的および経済的意義

消化器系疾患及びニューロサイエンスにおいて相互に補完するとともに、希少疾患と血漿分画製剤においてリーディングカンパニーとしてのポジションを獲得し、オンコロジーやワクチンにおける強みを補完

本買収は、消化器系疾患及びニューロサイエンスにおいて当社とシャイアー社とが相互に補完することにより、当社の変革を加速するものです。また本買収により、統合後の会社は希少疾患と血漿分画製剤におけるリーディングカンパニーとなり、オンコロジーやワクチンにおける強みを補完します。当社は、近年の ARIAD 社の買収に代表されるように、引き続きオンコロジー事業の成長を加速させます。さらに当社はワクチン事業を通じ、世界の最重要課題である公衆衛生のニーズに対し継続的に貢献してまいります。

今後の発展を促進する魅力的な地理的拠点と規模を有し、日本に本社を置く、企業価値の向上を追求する研究開発型グローバルバイオ医薬品企業のリーディングカンパニーが誕生

本買収により、当社の日本に由来する長い歴史と患者さんにとっての価値を追求する企業文化がさらに発展し、世界水準の革新的でグローバルな研究開発型バイオ医薬品企業のリーディングカンパニーが誕生します。統合後の会社は、魅力的な地理的拠点を有し、重要かつ成長市場である米国でのプレゼンスが向上します。さらに、シャイアー社のポートフォリオは、新興国及び日本市場における当社の強固な基盤か

ら利益を享受することになります。統合後の会社は引き続き日本に本社を置き、ボストン地域における研究開発プレゼンスが拡大するとともに、日本、シンガポール、スイス、米国といった主要ビジネス拠点も存続します。統合後の会社は、日本と米国という世界の二大医薬品市場において、リーディングカンパニーとしての地位を得ることになります。また、本買収により当社は、引き続き東京証券取引所を主として上場し、同時に米国ニューヨーク証券取引所にも上場する唯一の製薬企業となり、世界最大の 2 つの資本市場において取引が可能となります。

強固かつモダリティの多様な、高度に補完的なパイプラインを創出し、画期的な革新にフォーカスした研究開発体制を強化

当社とシャイアー社は、高度に補完的なパイプラインを有しています。シャイアー社は、遺伝子治療及び遺伝子組み換えタンパク質の分野における最先端の技術とともに、希少疾患の分野における強固な専門知識や高分子薬を含む多様なモダリティの中期および後期開発段階の魅力的なパイプラインを有しています。これらを当社の早期開発段階及び研究を主体とした研究開発プログラムと統合することにより、画期的な革新にフォーカスした高度に補完的で強固かつモダリティの多様なパイプラインとより強靱な研究開発体制を創出します。統合後の会社は、アカデミア(学術研究機関)やバイオテクノロジー企業、スタートアップ企業などと当社の 180 以上のアクティブな提携を含む既存のパートナーシップに基づき、パイプラインをさらに充実させていきます。

大幅なシナジーをもたらす充実した株主還元を実施することにコミットした経営により、当社のキャッシュフロープロフィールが向上

シャイアー社の買収は、統合後の会社に魅力的な経済的利益をもたらします。本買収は、買収完了後、最初の通期事業年度から、実質的な EPS 向上に大きく貢献し、また力強いキャッシュフローを創出します。本買収は、買収完了後、株主に対し充実した株主還元をもたらす、また、最初の通期事業年度内に、投下資本利益率(ROIC)は、当社の資本コストを上回ることが想定されています。本買収から生じると期待されるキャッシュフロー創出力の大幅な強化により、統合後の会社は買収完了後速やかにレバレッジを低下させます。また、当社は、投資適格格付を維持することを企図しており、純有利子負債/EBITDA 倍率は、中期的には、目標とする 2.0 倍以下の水準になります。

当社は、本買収が大幅な経常コストシナジーをもたらす機会を創出し、加えて、シャイアー社と当社の統合後のインフラストラクチャー、市場プレゼンス、開発能力から売上シナジーをもたらす可能性があります。当社は、統合後の会社の税引前の経常コストシナジー効果が、買収完了後 3 事業年度の終わりまでに年間少なくとも 14 億米ドルに達すると予想しています。

本買収により、当社のビジョン 2025 達成に向けた戦略的な変革が加速し、力強いキャッシュフローの創出により、研究開発への投資を継続することが可能となります。当社の確固たる配当方針は、引き続き将来の株主還元の根幹を成すものです。

統合の実施

当社の経験豊富な経営陣は、複雑なビジネスの統合と大規模な変革を行ってきた実績を有しており、シャイアー社の統合を成功に導き、その価値を最大化することが可能です。ボストン、スイス、シンガポールの

ハブなど地理的な組織構造が高度に補完し合うのみならず、重点領域が似ていることや研究開発に対するアプローチが補完し合うことも、統合の進捗に寄与します。当社は、誠実：公正、正直、不屈というコアバリューに基づき、両社従業員の専門性を保ちながら、統合の実施に注力してまいります。

本買収の条件

本買収においては、シャイアー社の株主はシャイアー社株式 1 株当たり 30.33 米ドルの現金、ならびに 0.839 の当社新株式もしくは 1.678 の当社 ADS のいずれかを受領する権利を有します。

本買収における上記条件は、以下の価値に相当します。

- 2018 年 5 月 2 日における当社株式の終値 4,535 円並びに 2018 年 5 月 4 日（本公表の直近営業日）のポンド-円及びポンド-ドル間の為替レート1ポンド=147.61 円と 1 ポンド=1.3546ドルに基づく、シャイアー社株式 1 株当たりの価値は 48.17 ポンドになります。
- 2018 年 4 月 23 日（シャイアー取締役会が原則として対価を推奨する旨の公表を行った前日）における当社株式の終値 4,923 円並びに同日のポンド-円及びポンド-ドル間の為替レート1ポンド=151.51 円と1ポンド=1.3945ドルに基づく、シャイアー社株式 1 株当たりの価値は 49.01 ポンドになります。

シャイアー社株式 1 株当たり 49.01 ポンドとした場合、シャイアー社の全発行済普通株式及び発行予定普通株式総数を合計した総額は約 460 億ポンドとなります。

本買収の完了直後において、当社株主は統合後の会社の約 50%を保有することになります。

本買収は、両社の取締役会の承認を得ており、シャイアー社株主および当社株主の承認、ならびに規制当局の承認を含む一定の慣習的なクロージング条件を前提条件とします。

本買収は 2019 年上期（1～6 月期）に完了する予定です。本買収完了時に、当社新株式は、東京証券取引所及び日本国内の地方の証券取引所に上場することとなります。さらに、当社は、その ADS（当社株式 0.5 株を表します）を、効力発生日又はその直後にニューヨーク証券取引所に上場するべく申請を行う予定です。

財務

当社は、JP モルガン・チェース・バンク NA、三井住友銀行、三菱 UFJ 銀行との間で 308.5 億米ドルのブリッジファシリティ契約を締結し、その資金の一部は本買収に関してシャイアー社株主に支払う現金対価に使用されます。現在、ブリッジファシリティ契約に基づくコミットメントは、統合完了前に、長期借入金、ハイブリッド資本およびその他調達可能な現金により減少または借り換えられることが検討されています。

＜留意事項＞

本プレスリリースは情報提供のみを目的としております。本プレスリリースは、いかなる法域においても、い

かなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分提案、案内若しくは勧誘又は本件買収若しくはその他の取引におけるいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、また、これを行うことを意図しておらず、いかなる法域においても、本件買収又はその他の取引において適用のある法令に違反する当社又はシャイアー社の有価証券の売却、発行、交換又は譲渡はございません。

＜将来に関する見通し情報＞

本プレスリリースには、当社及びシャイアー社のありうる結合についての声明を含む、当社及びシャイアー社についての将来に関する見通し情報が含まれています。このプレスリリースに含まれる過去の事実以外についての全ての声明は、将来に関する見通し情報です。将来に関する見通し情報は、「目標とする」、「計画する」、「信じる」、「望む」、「継続する」、「期待する」、「めざす」、「意図する」、「であろう」、「かもしれない」、「すべきである」、「したいと思う」、「できる」、「予想される」、「見込む」、「予想する」といった用語、又は同様の用語若しくはその否定的表現を含みますが、これらに限られません。将来に関する見通し情報は、その性質として、出来事に関連しており、将来起こるであろう状況に依るものであるため、リスクと不確実性を伴います。また、このプレスリリースにおける将来に関する見通し情報の文脈で記載されている要素は、将来に関する見通し情報で述べられた、又は含意されていたものとは本質的に異なる実際の結果又は進展をもたらすことがあります。このようなリスクと不確実性には、統合が遂行又は完了しないこと、必要な規制上の承認を得られなかったり、統合が遂行される場合のその他の条件が充足されないこと、統合が完了できなかったことにより当社又はシャイアー社の普通株式の市場価格や当社又はシャイアー社の経営結果に不利益な効果が生じること、期待されていた統合の利益を実現できないこと、統合についてのプレスリリースやその他の統合又はその完了に関するプレスリリースによる当社又はシャイアー社の普通株式の市場価格に対するマイナスの効果、重大な取引コスト及び/又は不知の負債、統合完了後において結合後のグループに影響を与える一般的な経済又はビジネスの状況、グローバルな、政治的な、経済的な、ビジネス上の、競争上の、市場の又は規制上の変化、将来の為替レート又は利率の変化、税法、規制、レートや政策の変化、将来の事業の統合又は譲渡及び競争力の進展が含まれますが、これらに限られません。将来に関する見通し情報に示されている予想は合理的なものであると考えられていますが、このような予想が正しいことを何ら保証するものではありませんので、このプレスリリース公表日現在のみのものとして言及する将来に関する見通し情報を過度に信頼しないように注意する必要があります。

将来の結果に影響を及ぼす可能性のあるその他のリスク要因は、シャイアー社の最新の Form 10-K 年次報告書及びシャイアー社のその後の Form 10-Q 四半期報告書に記載されており、それぞれの「ITEM 1A: リスク要因」の箇所にこれらのリスクについての記載があります。また、シャイアー社のその後の Form 8-K 報告書及びその他のアメリカ証券取引委員会への届出文書 (www.shire.com 及び www.sec.gov にて閲覧可能) にも記載がありますが、これらの内容はこのプレスリリースで参照されておらず、またこのプレスリリースの一部を構成するものでもありません。これらのリスク要因は、このプレスリリースに含まれる全ての将来に関する見通し情報に明確に該当し、読み手によって解釈されるべきものです。

当社若しくはシャイアー社又はこれらの会社のために行動する者に由来する将来に関する見通し情報の全ては、この注意事項に明確に該当します。読み手においては、このプレスリリース公表日現在のみのものとして言及するこれらの将来に関する見通し情報を、過度に信頼しないように注意する必要があります。適

用可能な法律により要求されていない限り、当社又はシャイアー社のいずれも、新たな情報、将来の出来事又はその他の結果として、将来に関する見通し情報を更新又は修正する義務を負うものではありません。

<業績予測又はその見積もりではないこと>

明確に言及されていない限り、本プレスリリースの内容(シナジーの予測の声明を含みます。)は、いかなる期間における業績予測又その見積もりを意図するものではなく、本プレスリリースにおけるいかなる声明も、現在又は将来の会計年度における当社又はシャイアー社の収益、1株あたりの収益又は1株あたりの配当が過去に公表された当社又はシャイアー社の収益、1株あたりの収益又は1株あたりの配当と必ずしも合致し、又はそれを超えることを意味すると解釈されてはなりません。

<医薬品に関する情報>

本プレスリリースには、製品についての情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではありませんし、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品の効能を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

以上